

平成 15 年度事業報告

1 調査研究事業

(1) 調査研究活動

- ① 森林の健康と癒し効果に関する科学的実証調査
委託者 林野庁（計画課）
調査期間 平成 15 年 7 月～平成 16 年 3 月
- ② むかし道を活用した健康増進活動に関する調査
委託者 林野庁（業務課）
調査期間 平成 15 年 9 月～平成 16 年 3 月
- ③ 生活環境保全機能等の高度発揮のための整備手法に関する調査
委託者 (財)林業土木コンサルタンツ（東京支所）
調査期間 平成 15 年 9 月～平成 16 年 3 月
- ④ 王地向地区複層林生育状況調査
委託者 山形県森林協会
調査期間 平成 15 年 7 月～平成 15 年 10 月
- ⑤ 消えゆく「森遊び・野遊び」の実態とその収録調査（Ⅲ）
委託者 全国森林インストラクター会
調査期間 平成 14 年 9 月～平成 15 年 8 月
- ⑥ 研修教材「楽しもう森林レクリエーション」の作成
委託者 全国森林組合連合会
作成期間 平成 15 年 10 月～平成 16 年 1 月
- ⑦ 実年層の森林活動参入に関する調査（Ⅱ）
助成者 (社)国土緑化推進機構
調査期間 平成 14 年 9 月～平成 15 年 8 月

(2) その他の研究活動

当協会の事業活動に活かすため、次のような協議会の研究会等に参加。

- ① 森林共生フォーラム
- ② 子ども樹木博士認定活動推進協議会
- ③ 巨樹・巨木保護中央協議会
- ④ 全国森林インストラクター会
- ⑤ 自然体験活動推進協議会（NPO 法人）
- ⑥ ウインターレジャーリーグ（NPO 法人）

2 普及啓もう事業

(1) 機関誌の発行・配布

機関誌「森林レクリエーション」を毎月発行し、会員や関係者に配布。
地域振興の具体的事例の特集等により内容の充実に努めた。
No.191 (2003-4) ～ No.202 (2004-3)

(2) 全国研修会（第17回）の開催

開催日時 平成15年10月30日（木） 13:30～17:00
平成15年10月31日（金） 8:00～17:00
開催場所 グランドヒル市ヶ谷 参加人員 50名

講演会（10月30日）

①「森林体験産業の創出」

講師 東京農業大学地域環境科学部教授 宮林 茂幸 氏

②「ウインターレジャーの活路策」

講師 NPO法人ウインターレジャーリーグ

副理事長・事務局長 坂倉 海彦 氏

③「国有林野の管理経営と地域との係わり」

講師 林野庁 次長 前田 直登 氏

現地研修会（10月31日）

① 千葉県「かずさアカデミアパーク」

○ 講話「千葉県の新たな森林施策等の取組事例」

千葉県 副知事 大槻幸一郎 氏

○ DNA研究施設等の視察

② 千葉県「マザー牧場」視察

③ 千葉県「鋸山国定公園」視察

(3) 支部総会・研修会の開催

支部総会・研修会の開催状況

支部名	開催日	開催地	出席者
道央	15年7月1日	札幌市	尾古専務理事
帯広	16年2月4日	帯広市	玉置森林教育部長

函 館 (研修会)	15年 7月 17日	七飯町	松田理事長
	15年 7月 18日	駒ヶ岳国有林等	〃
青 森 (研修会)	15年 7月 17日	十和田湖町	蒲沼理事
	15年 7月 18日	十和田湖キャンプ場等	〃
秋 田 (研修会)	15年 7月 10日	山形市	尾古専務理事
	15年 7月 11日	蔵王スキー場等	〃
前 橋 (研修会)	15年 8月 29日	前橋市	尾古専務理事, 蒲沼理事
	15年 10月 27-28日	上越国際スキー場等	蒲沼理事
東 京 (研修会)	15年 7月 10日	東京都江東区	松田理事長, 築瀬企画部長
	15年 10月 2-3日	嬬恋スキー場等	大平総務部長
長 野	15年 7月 3日	長野市	尾古専務理事
名古屋 (研修会)	15年 9月 16日	名古屋市	玉置森林教育部長
	15年 9月 17日	トヨタエコの森等	〃
大 阪 (研修会)	15年 7月 24日	大阪市	松田理事長
	15年 7月 24日	近畿中国森林管理局	〃
四 国	15年 7月 29日	高知市	松田理事長
九 州	15年 9月 3日	熊本市	宮本調査部長
賛助会員 研修会	16年 2月 10日	東京 (森林共生フォーラム: 研究会)	

(4) 森林共生フォーラムの活動

当協会が主宰する森林共生フォーラム (平成 15 年の活動状況)

研究会等	実施日	テーマ・講師
第 1 回研究会	平成 15 年 2 月 12 日	「森林新事業の展開～地方からの挑戦～」 講師 (株)シェルター代表取締役 木村 一義 氏

第2回研究会	平成15年5月22日	①「緑の雇用対策について」 講師 林野庁 経営課 林業労働対策室長 篠原 宏 氏 ②「森林新財源確保の地方条例等の動向」 講師 林野庁 企画課 企画調整官 矢部 三雄 氏 ③「エコツーリズムの場としての森林の活用」 講師 (有)リポーン 代表取締役 壺岐健一郎 氏
第3回研究会	平成15年7月22日	①「旅の変遷～旅は世につれ～」 講師 JTB「旅」編集長 楓 千里 氏 ②「林政の新たな展開～温暖化対策と木質バイオマス等～」 講師 林野庁 研究普及課長 平野 秀樹 氏
現地研修会	平成15年10月31日	開催場所 千葉県 (全国研修会の現地研修会に併せて開催)
第4回研究会	平成15年12月18日	①「都市と農山村の共生・対流に向けて」 講師 (財)都市農山漁村交流活性化機構 事務局長 日野 昭男 氏 ②「将来における我が国の森林・山村の姿」 講師 (独)農林漁業信用基金 副理事長 加藤 鐵夫 氏

(5) 子ども樹木博士認定活動への支援

子ども樹木博士認定活動について、その目的をPRし、情報交流等により全国的に推進する組織である「子ども樹木博士認定活動推進協議会」の事務局として、①機関誌「子ども樹木博士ニュース」の発行、②実施機関、活動計画書等の登録、③樹木の説明を紹介した教材「樹木ガイド」の提供、④樹木にくわしい森林インストラクターの紹介、⑤子ども樹木博士認定書の提供等の活動を支援。

(6) 巨樹・巨木保護運動への支援

国有林内の巨樹・巨木の保護に資することを目的に設立された「巨樹・巨木保護中央協議会」の事務局として、情報連絡、普及広報、保護基金造成への協力等の活動を支援。

(7) 森林倶楽部への協力

全国の森林管理局が主催する森林倶楽部の円滑な推進に協力するため、アウトドア保険の引き受けに協力。

北海道森林管理局ほか9局（開催回数29回，加入者1,879人）

(8) 他団体主催行事への後援等

① 第14回 みどりの感謝祭

平成15年4月29日 日比谷公園

② エコ・グリーンテック2003

平成15年5月21～23日 東京ビッグサイト

③ 第20回 森林の市

平成15年5月24・25日 代々木公園

④ 平成15年度 森林環境教育全国シンポジウム

平成15年9月27・28日 山口市

⑤ ウインターリゾート2004

平成15年11月1～3日 池袋サンシャインシティ

⑥ 第15回 森林とのふれあいシンポジウム全国大会

平成15年11月6・7日 新潟県湯之谷町

⑦ E F A F F 2003（第4回農林水産環境展）

平成15年11月25～28日 幕張メッセ

⑧ 西中国山地国定公園35周年「おそらかん雪まつり」

平成16年2月11～13日 恐羅漢スキー場周辺

⑨ 奉仕活動・体験活動推進全国フォーラム（文部科学省）

平成16年3月13日 泉ガーデンギャラリー

3 情報の収集・提供

(1) 森林レクリエーション情報の収集・提供

① 森林レクリエーション活動に関する事例紹介

○ 歴史と豊かな自然に恵まれた富士山麓のまち－静岡県富士宮市（機関誌No.191）

○ パウダースノーを満喫できる「札幌国際スキー場」（機関誌No.191）

○ 平成15年度森林倶楽部会員募集（機関誌No.192）

○ 照葉樹の森－鹿児島県（機関誌No.192）

○ 自然とともに生きる心を培う「道民の森」－北海道（機関誌No.193）

○ 「天然秋田杉の里」－秋田県上小阿仁村（機関誌No.193）

- 美しい「いなわしろ」の創造を目指して－福島県猪苗代町（機関誌No.193）
 - 澄み切った青空と緑豊かな郷土「県民の森」－宮城県（機関誌No.194）
 - 笑顔がかがやく躍動の舞台－北海道知内町（機関誌No.194）
 - 都市近郊型レクリエーション施設「えひめ森林公園」－愛媛県（機関誌No.195）
 - 森林を舞台としたエコツーリズム（機関誌No.196）
 - ダムの湖面と豊かな森林を活かした「府民の森ひよし」－京都府（機関誌No.196）
 - 都市交流で築く「緑と水と空気を守る村」－秋田県西木村（機関誌No.196）
 - 「都民の森」と「体験の森」－東京都（機関誌No.197）
 - 豊かな自然と文化資源をもつ森林公園－和歌山県（機関誌No.198）
 - 出会いのびのびふれあいの森－鳥取県（機関誌No.199）
 - 神秘の湖「オンネトー」－北海道足寄町（機関誌No.199）
 - 馬瀬川エコリバーシステム構想－岐阜県馬瀬村（機関誌No.200）
 - 森林で多様な活動をすすめる「神奈川県立 21 世紀の森」－神奈川県（機関誌No.201）
 - 森林体験産業の創造（機関誌No.202）
 - 美しい森林づくり運動を展開する「岡山県立森林公園」－岡山県（機関誌No.202）
 - 「自然を活かした観光・レクリエーションの振興」を目指して－北海道厚沢部町（機関誌No.202）
- ② 森林教育に関する情報
- 緑化を通じた学習環境づくり－沖縄県立八重山農林高等学校（機関誌No.196）
 - 高尾山の自然に魅せられて－高尾パークボランティア会（機関誌No.197）
 - 緑豊かな自然に思いを込めて－広島市東区緑のボランティア会（機関誌No.198）
 - 森林や自然に対するモラル向上を目指して－仙台市・山歩会（機関誌No.198）
 - 自然から学ぶ心を育てる（機関誌No.199）
 - 雲雀丘教育の里山づくり－神戸市立雲雀丘中学校（機関誌No.202）

③ 森林・林業に関する行政等の情報

- 森林・林業による内発的発展－北海道下川町（機関誌No.191）
- サントリー(株)が分収林「法人の森」を契約（機関誌No.191）
- 世界自然遺産候補地に関する検討会設置さる（機関誌No.191）
- 花粉の少ないスギ品種の開発（機関誌No.191）
- 平成 15 年度森林レク関係林野予算の概要（機関誌No.192）
- 水と森林円卓会議の開催（機関誌No.192）
- 森林・山村に係る地方財政措置の概要（機関誌No.193）
- 都市と農山漁村の共生・対流に向けた推進組織の設立に向けて（機関誌No.193）
- 平成 14 年度森林及び林業の動向に関する年次報告の公表（機関誌No.193）
- 森林レクリエーション事業用地使用料取扱要領の改正（機関誌No.194）
- 高齢社会における森林空間の利用に関する調査結果（機関誌No.194）
- 世界の森林の動向と我が国の森林整備の方向－森林・林業白書（機関誌No.195）
- 「我が国にふさわしい森林認証制度」の報告（機関誌No.195）
- 地球温暖化防止吸収源対策研究会の中間報告（機関誌No.196）
- 人生の幸せの原点は「住宅の質」にある－(株)シェルター（機関誌No.198）
- 里山条例の制定と多様な森林利用を目指して－千葉県（機関誌No.199）
- 全国森林計画の策定「森林の保全」を明記（機関誌No.199）
- 平成 15 年度国有林野等所在市町村長会議の開催（機関誌No.200）

④ 旅行・レジャーに関する情報

- 02/03 ウィンターシーズンのスキー関連記事から（機関誌No.191）
- 02/03 スノースポーツシーズン概況（機関誌No.195）
- 旅の変遷と最近の旅行スタイル－楓千里（機関誌No.197）
- 日本のスキー場産業の現状と展望－坂倉海彦（機関誌No.201）
- 「雪国の子どもたちのスキー普及」キャンペーン（機関誌No.201）

⑤ 当協会に関する情報

- 第 33 回理事会の開催（機関誌No.191）
- 第 3 回インターネット活用教育実践コンクールに入賞（機関誌No.191）
- 森林活動ガイド養成講習会の開催（機関誌No.192）
- 森林レクリエーション地域美化活動コンクール各賞決定（機関誌No.193）

- 第 18 回通常総会開催（機関誌No.194）
- 森林インストラクター資格試験に 239 名が合格（機関誌No.200）

(2) 森林・山村活性化アドバイザーの派遣

依頼に応じて次のとおり実施した。

- （依頼者） 静岡県 三ヶ日町
- （内容等） 町民ふれあいの森構想について
- （期 間） 平成 15 年 9～12 月

4 森林レクリエーション地域美化活動コンクール（第 16 回）の実施

都道府県や当協会支部を通じて、森林レクリエーション地域において積極的に美化活動を行っている学校又は地域グループ、職場グループ等のボランティア団体等を公募（締め切りは平成 16 年 2 月末日）。応募総数 36 団体について審査委員会による審査の結果、次の受賞団体を決定。

農林水産大臣賞	兵庫県	やしろの森公園運営協議会
林野庁長官賞	宮城県	米川小学校みどりの少年団
林野庁長官賞	栃木県	特定非営利活動法人 山野草保存会
全国森林レクリエーション協会会長賞	茨城県	潮来緑を守る少年隊
全国森林レクリエーション協会会長賞	滋賀県	里山保全活動団体 遊休会
全国森林レクリエーション協会会長賞	大阪府	河南町立河内小学校

5 森林インストラクター資格認定事業

受験申込者数は昨年より若干多い 1,246 人（昨年は 1,200 人）で、合格者数は 239 人（昨年は 238 人）。合格者は昨年に引き続き 50 代、60 代の者が多くなっており、各年齢層の合格者数はほぼ同程度、また、合格者の平均年齢は昨年と同じ 45 歳。合格者の累計は 1,894 人。

平成 15 年度の実施状況は次のとおり。

- ① 資格試験の公募案内書の配布（平成 15 年 2 月 1 日）
- ② 森林インストラクター養成講習の募集開始（平成 15 年 4 月 1 日）
- ③ 森林インストラクター養成講習の実施

区分	科目	期間	日数	場 所	受講者数
科目別講習	森 林	5. 17～5. 19	3	東京・石垣記念ホール	165 人
	林 業	6. 15～6. 16	2	東京・石垣記念ホール	160 人

	野外活動等	5. 31～6. 2	3	東京・石垣記念ホール	162 人
全科目講習	4 科目	8. 13～8. 20	8	東京・石垣記念ホール	166 人

④ 一次試験の実施

期 日	試 験 地	会 場	申込者数
9 月 14 日	札幌市	北海道経済センター	45 人
	東京都	青山学院大学	759 人
	東大阪市	大阪商業大学	291 人
	高知市	高知グリーン会館	46 人
	福岡市	アクロス福岡	95 人

⑤ 二次試験の実施

期 日	試 験 地	会 場	受験者数
11 月 22～23 日	東京都	三会堂ビル石垣記念ホール	255 人

⑥ 合格者の審査・決定（平成 15 年 12 月 4 日） 合格者 239 名

⑦ 合格者の公表・登録開始（平成 15 年 12 月 10 日）

6 森林活動ガイド養成事業

完全学校週 5 日制や「総合的な学習の時間」の導入等に伴い自然体験活動の指導者の確保が求められている中で、平成 13 年度から森林活動ガイド養成講習を実施。本養成講習の修了者は「森林活動ガイド」として登録。（自然体験活動推進協議会（CONE）の「CONE リーダー」としても登録可能）。

平成 15 年度の実施状況は次のとおり。

(1) 森林活動ガイド養成の単独講習会

当協会（本部又は支部）が主催し、県等関係団体の理解や協力を得て実施。

① 群馬県川場村（本部）

平成 15 年 9 月 5 日～7 日 受講者 28 名

② 青森県鯉ヶ沢町（青森支部）

平成 15 年 9 月 26 日～28 日 受講者 35 名

(2) 森林インストラクター養成に併せた同時講習会

東京で開催している森林インストラクターの養成講習に併せて、森林活動ガイド養成講習の内容も盛り込んで実施。

- ① 東京都「三会堂ビル石垣記念ホール」
平成 15 年 5 月 17 日から 6 月 16 日(うち 8 日間) 受講者 129 名
- ② 東京都「三会堂ビル石垣記念ホール」
平成 15 年 8 月 13 日～20 日(8 日間) 受講者 166 名

(3) 他団体との共催による講習会等

- ① 「高知県森と緑の会」との共催で CONE リーダー（森林活動ガイド）養成講習を実施。
高知県土佐山田町「高知県立森林研修センター」
平成 16 年 1 月 10 日～12 日 受講者 58 名
- ② 林野庁森林技術総合研修所の依頼により，自然体験活動推進協議会の指導者養成団体として CONE リーダー（森林活動ガイド）を養成（登録等を実施）。
八王子市「林野庁森林技術総合研修所」
平成 15 年 12 月 1 日～5 日 登録者 33 名

7 陳情・要望等の活動

これまで林野庁に見直しを要請してきたスキー場の貸付料について，林野庁の対応結果の周知に努めた。

また，支部からの要望等について，林野庁等関係機関へ要請を行った。

8 会員組織の状況

平成 15 年度における会員数の異動状況

区 分	平成 14 年度末	入 会	退 会	平成 15 年度末
会 員	477	1	28	450
賛助会員	32	3	0	35
合 計	509	4	28	485